

人の可能性を照らせ。



令和4年10月20日
株式会社 QD レーザ

誰もがアート作品を鑑賞できる取り組みに向けた一歩；
「DESIGNART TOKYO 2022」にて
RETISSA ON HAND(レティッサ・オン・ハンド)を設置します。

10月21日から行われる「DESIGNART TOKYO 2022」において、QD レーザの RETISSA ON HAND(レティッサ・オン・ハンド)を設置し、見えづらさを抱え、普段アート作品を鑑賞する機会の無かった方にも展示物をお楽しみいただきます。この取り組みは会場を提供する株式会社ワールド様の「コオフクプロジェクト」と QD レーザの「見えづらいを「見える」に変える」という製品コンセプトが共鳴して実現しました。会場は著名なデザイナーである板坂諭(いたさかさとし)氏によって空間構成され、プラスチックのアート作品、イスラエル人デザイナーによる器、照明作品など多くの作品が展示されます。誰もがアート作品を鑑賞できる取り組みに向けて、一歩を踏み出します。

■DESIGNART TOKYO

東京を舞台に、アート、デザイン、インテリア、ファッションなどが多彩なプレゼンテーションを開催する日本最大級のデザイン&アートフェスティバルです。2017年の開催から6年目の今年は、テーマに「TOGETHER ~融合する好奇心~」を掲げ、さらにインターナショナルイベントとして、東京から多彩なデザイン・アートを世界へ発信していきます。

名 称 : DESIGNART TOKYO 2022

場 所 : ワールド北青山ビル(東京都港区北青山3-5-10)

会 期 : 10月21日(金)~10月30日(日)

時 間 : 10:00~18:00

入 場 料 : 無料 ※検温とマスクの着用をお願いしています。

公式サイト: <http://designart.jp/designarttokyo2022/>

RETISSA ON HAND(レティッサ・オン・ハンド)設置日時と体験について:

- ・初日の10月21日は 12:00 から設置し、係の者が御体験を支援させていただきます。
- ・22日以降に体験を希望される方は、retissa@qdlaser.com までご連絡ください。

■「コオフクプロジェクト」

会場を提供する株式会社ワールド様(兵庫県神戸市中央区港島中町 代表取締役会長 上山健二(かみやまけんじ)様)は、視覚に障がいがある人の困りごとを捉え、誰もが安心して、ファッションを楽しめる環境を考える取組み「コオフクプロジェクト」を進めています。今年は「視覚に障がいのある人の困りごとを捉え、皆で考える」プロジェクトとして、アンケート調査とワークショップを経て、店頭で買い物体験を行いました。QD レーザの「見えづらいを「見える」に変える」という製品コンセプトと共鳴し、この度の RETISSA

ON HAND(レティッサ・オン・ハンド)設置が実現しました。

■RETISSA ON HAND(レティッサ・オン・ハンド:右図)

片手で持って使います。接眼レンズの反対側に内蔵したカメラの映像を、60度という広い視野角で網膜いっぱい描き出します。重さは500グラムで持ちやすいアーム付き、プロジェクタ、レーザ、電池などはすべて内蔵されているので、外部の配線はありません。またフィッティングも必要ないため、手に取ってスイッチを入れればすぐに使えるという手軽さがあります。網膜に映し出されるのは、オートフォーカスのカメラで撮影されたフォーカスフリーのフルカラー映像です。7倍のズームで遠くのものも見やすくし、明るさの調整も可能です。また、画像を白黒反転する機能は、特に文字を読むときに効果を発揮します。映像の動きを一時停止して、じっくり見ることができる画像キャプチャという機能も付いています。



RETISSA ON HAND(レティッサ・オン・ハンド)を使って、展示物をお楽しみください。

■QDレーザの取り組み

QDレーザは、世界に先駆けて製品化したレーザ網膜投影技術を①見えづらいを「見える」に変える②「見える」の健康寿命を延ばす③「見える」の世界を拡張するという3つの領域で活用する取り組みを進めています。この度使用されるRETISSA ON HANDは①の見えづらいを「見える」に変える領域の取り組みです。今後は全国の図書館をはじめとして公共施設への設置を進め、展示物を鑑賞することや文字を読んだり書いたりすること活用していただく取り組みを進めてまいります。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社 QDレーザ 視覚情報デバイス事業部

メール:retissa@qdlaser.com

以上